

平成29年度 下呂市立金山病院改革プランの点検・評価表

1. 収支計画

	平成28年度	平成29年度			点 検 (平成29年度の実績値等の点検)
	実績値 a	計画値	実績値 b	比 較 b/a (%)	
医業収益 (百万)	1,252	1,226	1,184	94.6	入院患者数が減少し収益を引き下げる結果となったが、費用において医療材料等を抑制することで収支は黒字となった。 委託費は、患者数の減に伴い給食・病理検査・受付業務等が減った。 光熱水費について、電気料を昨年度並みに削減できた。
医業外収益 (百万)	311	275	278	89.4	
総収益 (百万)	1,563	1,501	1,462	93.5	
医業費用 (百万)	1,411	1,456	1,403	99.4	
うち職員給与費 (百万)	785	878	808	102.9	
うち材料費 (百万)	200	196	173	86.5	
うち委託費 (百万)	149	158	142	95.3	
うち光熱水費 (百万)	24	28	25	104.2	
うち減価償却費 (百万)	117	116	117	100.0	
医業外費用 (百万)	58	58	56	96.6	
総費用 (百万)	1,469	1,514	1,459	99.3	
(総収益－総費用) (百万)	94	-13	3	3.2	

※金額は決算統計の値とする。

2. 医療機能等指標に係る数値目標

	平成28年度	平成29年度			点 検 (平成29年度の実績値等の点検)
	実績値 a	計画値	実績値 b	比 較 b/a (%)	
時間外救急患者数 (人)	1,836	2,000	1,695	92.3	・時間外の救急患者数は141人減り、救急車による搬入も32人減っている。
救急車受入件数 (件)	237	210	205	86.5	
手術件数 (件)	276	270	238	86.2	・手術件数は38件の減。
臨床研修医受入数 (人)	3	8	4	133.3	・研修医の受け入れは計画を下回ったが、実習生の受け入れは計画を上回り昨年と同人数を確保した。
医学生実習受入数 (人)	8	4	8	100.0	
健診受入数 (人)	1,794	1,700	1,607	89.6	

3. 財務に係る数値目標

	平成28年度	平成29年度			点 検 (平成29年度の実績値等の点検)
	実績値 a	計画値	実績値 b	比 較 b/a (%)	
経常収支比率 (%)	106.4	99.2	100.2	94.2	・経常収支比率は100%以上を達成した。
医業収支比率 (%)	88.7	84.3	84.4	95.1	
職員給与比率 (%)	62.7	71.6	68.2	108.8	・給与増に対して医業収益が減ったため職員給与比率は6.0%上昇した。
材料費対医療収益比率 (%)	15.97	15.97	14.61	91.47	

備考 ①経常収支比率: (医業収益＋医業外収益) ÷ (医業費用＋医業外費用) × 100

②医業収支率: 医業収益 ÷ 医業費用 × 100

③職員給与比率: 職員給与 ÷ 医業収益 × 100

④材料費対医療収益比率: 材料費 ÷ 医業収益 × 100

4. 経費削減に係る数値目標

	平成28年度	平成29年度			点 検 (平成29年度の実績値等の点検)
	実績値 a	計画値	実績値 b	比 較 b/a (%)	
委託費の対医業収益比率 (%)	11.9	12.0	12.0	100.8	・委託費及び光熱水費の対医業収益比率は前年度並み。 ・前年に対し12品目増。
光熱水費の対医業収益比率 (%)	1.9	2.1	2.1	110.1	
ジェネリック薬品の使用薬品数 (品)	64	67	76	118.8	

5. 収入確保に係る数値目標

	平成28年度	平成29年度			点 検 (平成29年度の実績値等の点検)
	実績値 a	計画値	実績値 b	比 較 b/a (%)	
一般病棟病床利用率 (%)	81.8	80.0	75.9	92.8	・一般病棟は5.9%減り目標の80%を下回った。 ・療養病棟は4.8%減り目標の70%を下回った。 ・受診者が30人増えた。
療養病棟病床利用率 (%)	74.2	77.7	69.4	93.5	
人間ドック受入数 (人)	28	30	58	207.1	

③病床利用率: 延入院患者数 ÷ (許可病床数 × 365日) × 100

6. 経営の安定に係る数値目標

	平成28年度	平成29年度			点 検 (平成29年度の実績値等の点検)
	実績値 a	計画値	実績値 b	比 較 b/a (%)	
常勤医師数 (人)	8	8	8	100.0	・常勤の医師数を現状維持したが、看護師が2名減となった。
看護師数 (人)	61	59	59	96.7	
理学療法士 (人)	5	5	5	100.0	・理学療法士は現状維持、作業療法士は1名増員となった。
作業療法士 (人)	2	3	3	150.0	

7. 数値目標達成に向けての具体的な取組

No.2

項 目	点 検	評価・意見・提言等
(1)「1.収入計画」から「6.経営の安定に係る数値目標」までの項目	各点検内容のとおり	・人口減少など経営状況が大変な中、経営努力の成果が出ている。今後も市民の為にがんばっていただきたい。 ・少子化により子供の数が減っているが高齢者の数はそれほど減っていないので、経営維持に努めてください。
(2)事業規模等の見直し ①金山病院整備基本計画に基づき、一般病床50床、療養病床49床を維持する。	(2)について 高齢者人口の増加を踏まえ、現在の病床数を維持した。	
(3)収入確保への取組 ①施設基準の見直し ② 病床利用率等の確保	(3)について ①リハビリテーション料各種(脳血管Ⅱ・運動器Ⅰ・がん患者)、療養病棟入院基本料1、診療録管理体制加算2、透析液水質確保加算2、データ提出加算1を取得。 ②診療報酬改定を見据え療養病棟入院基本料の見直しを行った。その結果療養病棟へは医療区分の高い入所者に限定されることとなり利用率の低下に繋がった。	
(4)経費削減への取組 ①業務委託の内容等見直しを行う ②複数業者による競争入札を行う ③ 光熱水費の抑制を図る	(4)について ①契約内容に過大なものが無いか精査した。 ②機器購入等において複数の業者による競争によって購入価格の低減に努めた。 ③中部電力から新電力事業者へ契約を変更。最大使用電力に注意し電気使用料の削減に努めた。	
(5)再編・ネットワーク化に係る計画 市内にある2つの公立病院は、お互いの機能役割分担を図り、この地域の医療体制の構築を図る。	(5)について 脳神経疾患については、下呂温泉病院へ紹介するなど機能役割分担を図っている。	
(6)経営の見直し ①経営の黒字化への取り組み ②経営形態の検討	(6)について ①(3)及び(4)のとおり ②昨年一部適用から全部適用へ変更した病院へ先進地視察を行なった。	